

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第7期第5回相模原市緑区区民会議		
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話042-775-8802 (直通)		
開催日時		令和5年10月5日(木) 午後3時～午後5時		
開催場所		緑区合同庁舎4階集団指導室		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	15人(区長、副区長、区政策課長、他12人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 新任委員の紹介 3 議 題 (1) これまでの審議結果の確認と今後の進め方について (2) 情報発信事業の検討について(グループワーク) 4 その他 5 閉 会		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（◎は会長の発言 ○は委員の発言 ●は事務局の発言）

### 1 開会

緑区役所区政策課長の進行により、会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議公開の確認を行った。また、傍聴希望者がいない旨の報告を行った。

### 2 新任委員の紹介

緑区役所区政策課長の進行により、新任委員の紹介を行った。

### 3 議題

牧瀬会長の進行により、議事が進められた。

#### (1) これまでの審議結果の確認と今後の進め方について

事務局から資料に基づき説明を行った。

#### (2) 情報発信事業の検討について（グループワーク）

グループワークに先立ち、事務局から資料に基づき「情報発信に係る区の取組事例の紹介」を行った。

##### ア 動画配信について

○公開期間と閲覧回数に関する分析は行っているか。

●分析は出来ていない。後日、分析を行った上で結果を報告する。

○閲覧回数については、トータルの回数と判断してよいか。

●公開日から9月末時点までのトータルの回数である。

○閲覧数が少ない動画もあるが、途中で公開を中止したような動画があれば教えてほしい。

●事務局では、動画公開後に公開を中止した動画については把握していない。閲覧数が少ない動画についても、現時点で公開を中止する予定はない。

##### イ ホームページについて

○市内外どこからのアクセスなのか分かると良い。

●動画配信と併せて、分析結果を後日報告する。

◎最近のアクセス解析では、ホームページの滞在時間等もわかる場合がある。どのページがよく見られているかわかるので、分析できるようなら報告いただきたい。

「情報発信に係る区の実事例の紹介」に対する質疑応答のうち、3グループに分かれて情報発信事業の検討に係る意見交換を行った。

<各班の主な意見>

【A班】（発表者：熊谷委員）

テーマ① 区の実事例に対する意見交換

○良い点として「動画の作りは良い」「こまめに文書での情報提供ができてい  
る」などの意見があった。

○改善点として「ポイントが絞れていない」「見栄えのする場所を映したほうが良  
い」「地区単位のパンフレットが多い」「広く浅くではなく、ディープな情報が  
欲しい」「媒体ごとの役割を明確にした方が良い」などの意見があった。

テーマ② 情報発信事業の検討

○情報発信の媒体としては、「緑区版の広報紙」が意見として挙げられたほか「区  
内と区外で異なる情報発信が必要」「市外へ発信するには動画やSNSなどのデジ  
タル媒体が効果的である」などの意見があった。

○情報発信のターゲットとしては、広報紙に関しては「高齢者」「全年代」などの  
意見が出た。また、緑区の一体性をつくるという観点から「区民」との意見があ  
った。

○内容としては「子どもたちに、緑区の良い点などを発表してもらうような「緑  
区」としてのイベント、発表会などを行う」「小中学生、高校生、成人を対象に  
弁論大会を実施する」など、若者向けのイベントに関する意見があった。

【B班】（発表者：河津委員）

テーマ① 区の実事例に対する意見交換

○良い点としては「ミウルのなつやすみスタンプラリーはとても良い内容だった。  
通年でやってはどうか」との意見があった。

○改善点としては「内容の印象が薄く、インパクトに欠ける」「時代に沿った情報  
発信ができていない」「住民間で話題になっていない」「ターゲットが絞り切れ  
ていない」「ホームページのねらいは良いが、具体的な相談先に繋がっていな  
い」などの意見があった。

テーマ② 情報発信事業の検討

○情報発信の媒体としては「SNS」「動画配信」などの意見があり、いずれもどの  
ようにして印象に残るインパクトのある発信ができるかが課題である。

○情報発信のターゲットとしては「市外の人」「若者」「企業」「新しいライフス  
タイルを实践しようとしている人」などに焦点を絞ってはどうか。前述の媒体と  
組み合わせ、動画やSNSは若者に届きやすい媒体だと思ふとの意見もあつた。

○内容としては「キャンプ」が挙げられたが、もっと議論を重ねる余地がある。  
「緑区しか勝たん」の意志を持って考えていきたい。

【C班】（発表者：村上委員）

テーマ① 区の事例に対する意見交換

○良いところとしては、「Instagramの『#緑区』が4.3万件あること」「YouTubeに1300件近い緑区の動画が投稿されていること」との意見があった。

○改善点としては、「ターゲットがざっくりしている」「動画・写真が古い（画質が悪い）」「更新頻度が低い」「動画の内容やサムネイルに魅力を感じない」「共有すべき情報を発信できていない」などの意見があり、「有名な自転車選手に出演を依頼してもいいのではないか」「住民やイベント等の参加者から、SNSに面白い場所やイベントについて投稿してもらい、コンテストをするのはどうか」との案もあげられた。

テーマ② 情報発信事業の検討

○情報発信の媒体としては「InstagramやTikTokなど若者がアクセスしやすいSNS」や「すもうよ緑区特設サイトの強化・SNS連携」などの意見があった。

○情報発信のターゲットとしては「移住者」「近隣の都や県」「区民」などの意見があり、いずれも「若者」をターゲットにしてはどうかと意見が多かった。

○内容としては、「SNSでグルメだけの発信アカウントを作成する」「緑区の名所などをSNSで紹介する」などの意見があった。

◎他市の事例にはなるが、自分が関わった情報発信事業としていくつか紹介させていただく。「検索エンジンへの広告掲載」「たまごクラブ・ひよこクラブへの記事掲載」「移住促進コースターの飲食店への配布」など、どの情報発信も転入人口の増加を目的として実施した施策だが、転入増を目指す場合は「どんな地域の」「どういう世代を」ターゲットにするかによって、アプローチ方法がまったく変わってくる。また、動画配信の事例について、いわゆる炎上マーケティングという形で注目を集めているパターンもある。一昔前は「ググる」と言って、インターネット検索による拡散が主流だったが、現在は「タグる」と言って、X（旧Twitter）などにおけるハッシュタグを活用した情報拡散が主流となっている。

そういった時流も踏まえて、今回は引き続き、事業の内容などに関する深掘りを実施していきたい。

4 その他

事務局より、情報提供として「地域おこし協力隊の委嘱式」など最近の区の事業を紹介した。

次回の区民会議については、日程調整中のため、決まり次第連絡させていただきます。

5 閉会

## 相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
まちづくり会議	森 誠壽	橋本地区まちづくり会議 副代表	出席
	佐藤 金男	大沢地区まちづくり会議 代表	出席
	小島 盛生	城山地区まちづくり会議 代表	出席
	熊谷 弘	津久井地区まちづくり会議 代表	出席
	河津 暁	相模湖地区まちづくり会議 代表	出席
	○宮野善三郎	藤野地区まちづくり会議 代表	出席
関係団体	松井 光臣	相模原市地区社会福祉協議会緑区連絡会 会長	出席
	立川 直子	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事 (津久井地区民生委員児童委員協議会 会長)	出席
	角田 健	相模原市P T A連絡協議会 副会長	欠席
	佐伯 守章	相模原商工会議所 青年部 副会長	欠席
	小野沢健二	津久井地域商工会連絡協議会 会員 (相模湖商工会 事務局長)	出席
	吉野 賢治	公益社団法人相模原市観光協会 代表理事	出席
	村上 翔一	公益社団法人相模原青年会議所	出席
	武井 俊長	公益社団法人津久井青年会議所 理事長	欠席
	佐藤 鉄郎	相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会 事務局長	出席
	星 和美	特定非営利活動法人ふじの里山くらぶ 理事	出席
米山 敦子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら 副代表理事	出席	
学識経験者	◎牧瀬 稔	関東学院大学法学部 准教授	出席
	池田 寛二	法政大学 名誉教授	出席
区民	白水 敦子	公募委員	欠席
	松平菜保子	公募委員	出席
	日高 彩希	公募委員	出席
民間事業者	梶原 英俊	相模湖リゾート株式会社 代表取締役社長	出席
	佐藤 賢策	東日本旅客鉄道株式会社橋本駅 駅長	欠席
	中原 正貴	神奈川つくい農業協同組合 経済部 営農経済課長	欠席

◎は会長、○は副会長